

ちよふの市議会だより



平成29年(2017年)5月5日(金) 第229号

調布市ホームページ <http://www.city.chofu.tokyo.jp>



市議会HP
二次元コード

第1回定例会の会議経過

日付	内容
2月27日(月)	○本会議 ○議案上程(委員会付託) ○平成29年度基本的施策
2月28日(火)	○本会議 ○議案上程(議決)
3月2日(木)	○本会議 ○議案上程(議決) ○代表質問(4人) ○基本的施策に対する質問(2人)
3月3日(金)	○本会議 ○議案上程(委員会付託)
6月6日(月)	○本会議 ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)
7月7日(火)	○本会議 ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)
9月9日(木)	○本会議 ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)
11月11日(土)	○本会議 ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)
12月12日(日)	○本会議 ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)
14日(火)	○本会議 ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)
15日(水)	○本会議 ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)
16日(木)	○本会議 ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)
22日(水)	○本会議 ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)



創立70周年を迎える調布中学校と神代中学校の桜
(写真の左上・右上・右下は調布中学校、左下・左中は神代中学校)

第1回定例会おわる
平成29年度各会計予算を可決
一般会計予算総額は、前年度比3.9%増の88億5千万円

一般会計予算は市政運営のための基本的な経費を計上する予算です。本議案は、常任委員会(総務・文教・厚生・建設)で審査し、3月22日の本会議で各会派が討論を行い、義務教育就学児医療費の助成拡大などについて態度が分かれましたが、起立多数で可決しました。

ここでは29年度一般会計予算の主な内容をお知らせします。

- 待機児童対策の推進
約21億8千万円(前年度比約200%増)
保育定員の800人規模の拡大に向けて、認可保育園10園と分園1園の誘致・開設を進めるものです。
- 小・中学校施設の整備
約28億2千万円(前年度比約7.1%増)
児童・生徒数の増加に伴う学校施設の整備や給食室の改修設計などを行うものです。

一般会計予算を審議しました

平成29年第1回定例会を、2月27日から3月22日までの会期24日間にわたって開催しました。この定例会では、平成29年度一般会計予算など議案31件が市長から提出されました。市議会では、これらの案件を慎重に審議し、全て原案どおり可決したほか、議員提出議案5件・陳情5件を審議しました。

初日に市長が述べた基本的施策に対しては、各会派が市長に代表質問・質問を行いました。また予算審査や討論を通じて、今後の調布駅前広場整備事業については、公共施設のあり方や既存樹木の取扱いなど、より多くの市民及び議会の意見を踏まえて進めることなどを求めました。

第229号の主な内容

- 市長の基本的施策に対する代表質問の要旨・・・2～3
- 市長の基本的施策に対する質問の要旨
- 文書の取扱いに関する全員協議会を開催
- 小型航空機事故への誠実な対応を都に要請・・・4
- 一般質問の要旨・・・5～6
- 常任委員会の審査から・・・6～7
- 平成29年度一般会計予算に対する討論
- その他の市長提出議案に対する討論・・・7
- 案件に対する議員の態度
- 平成29年度各会計予算一覧表
- 議員研修を実施しました・・・8

発行 調布市議会
東京都調布市小島町2-35-1
議会事務局
☎042-481-7291 ☎042-481-5119
✉gikai@w2.city.chofu.tokyo.jp

よりよい紙面を目指して
皆様の声をお聞かせください
市議会だよりのレイアウトや内容などに対する御意見がありましたら、議会事務局までお寄せください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

調布市議会 議会報告会

～開かれた議会をめざして～

平成29年5月13日(土)
14:00～16:00 (13:30受付開始)
文化会館たづくり 大会議場(12階)
当日先着100名

●主なプログラム●

- ◇議長報告
- ◇3月議会 平成29年度予算審査について
総務委員会 文教委員会
厚生委員会 建設委員会
- ◇委員会ごとに分かれて皆様から質問や御意見を伺います。

※手話通訳及び保育室での保育あり
(託児を御希望の方は、5月10日(水)までに御連絡ください。)

問合せ・連絡先

議会事務局 ☎042-481-7291

- 介護予防・日常生活支援総合事業の展開
約5億円(前年度比約230%増)
介護予防・生活支援サービスの運営や介護予防訪問指導などを行うものです。
- 乳幼児・義務教育就学児医療費助成の実施
約8億6千万円(前年度比約8.7%増)
乳幼児や小・中学生への保険料の軽減などを行うものです。
- 診療医療費自己負担分の全額または一部助成、小学1年生から3年生までの所得制限撤廃など支援の拡充を行うものです。
- 自転車等駐車場の整備・有料化
約5億7千万円(前年度比約40%減)
自転車等駐車場の需要に応じた収納台数の確保を進めるため、調布駅南地下自転車駐車場の工事などを行うものです。





自由民主党創政会

田中 久和

ニッポン一億総活躍へ

夢と希望が持てるまちづくりを



問 ニッポン一億総活躍プラン、都の「2020年に向けた実行プラン」を踏まえた取組みは。

答 子ども・子育て支援について緊急対策等活用し、安心して産み育てられる環境を一層充実。

問 五輪・パラリンピック、ラグビーワールドカップに向けた①スポーツ・文化振興施策の展開は②会場周辺の整備におけるバリアフリー化などの取組みは③産業・観光振興への取組みは

答 ①地域資源を活用し、スポーツに触れる機会を創出。アーブルリユット展等に取り組み②スタジアム通りの歩道工事を29年度から2力年で予定③海外からの来訪者に向け、新たな企画実施や買い物の利便性を向上。

問 調布飛行場の安全対策強化と墜落事故被害者の救済制度は

答 今後、事故原因を踏まえた安全対策を協議。被害者救済策について都に誠実な対応求める。

問 29年度歳出予算における民生費の構成比は50%と半分を超えた。民生費の適正化、公共サービスの民営化の積極的推進を

答 優先度やニーズ等を検証し、改善に取り組み。サービスの質や費用対効果などを総合的に考慮し、民間活力の導入を検討。

問 防災市民組織、避難所運営マニュアル、住宅等の耐震化など、地域の防災力向上への今後の取組みは。

答 防災市民組織は、様々な機会を通じ、結成の促進や活動を支援。マニュアルは、訓練等により検証を重ね、実効性を高める。29年度から木造住宅所有者等に対し専門家による個別訪問を実施し、一層の耐震化を図る。

問 災害時の一時避難所となる小・中学校の避難所機能の充実への取組みは。

答 マンホールトイレや非常用電源設備を整備。体育館の大規模改修時に機能向上を実施。避難所運営訓練などで確認・活用。

問 国が掲げる地域共生社会の実現に向け、高齢者・障害者・子どもなどを含めた地域包括ケア

4会派(自由民主党創政会、チャレンジ調布21、公明党、日本共産党)が市長の基本的施策に対する代表質問を行いました。なお、★印の用語は3面に解説を掲載しています。

スマートフォンなどをお持ちの方は、タイトル内の二次元コードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

アシスタムの構築が求められる。介護する方・される方への支援の充実に向けた取組みは。

答 施設サービス整備を継続するほか、仕事と介護の両立支援として介護教室等を開催。第7期高齢者総合計画策定に向け実態把握に努め、支援内容を検討。

問 子どもの貧困が大きな社会問題となる中、保育の受け皿拡大、保育人材の確保、ひとり親と多子世帯支援、幼稚園施策の拡充など、実効性ある子ども・子育て支援に向けた取組みは。

答 29年度は800人規模の保育定員拡大を目指す。保育従事職員の家賃補助について、採用年数の制限を撤廃。ひとり親世帯への相談・学習支援を継続。多子世帯の経済的支援の拡大を図る。幼稚園入園料の補助を拡充。

問 義務教育就学児医療費の完全無償化について、29年度からは、医療機関にかかる機会の多い小学校3年生までを対象に所得制限が撤廃されるが、所得制限の撤廃並びに無料化について今後の取組みは。

答 更なる拡充は一層の財政負担を伴うため、引き続き国や都に財政支援を要望するとともに、子どもが安心して医療を受けることができる環境整備を、子育て施策全体の中で検討していく。

問 教員の質の確保、担任を担わない教員や補助教員の増員、学校施設の適切な環境整備など、教育施策の充実への取組みは。

答 教員の経験年数に応じた研修を継続。部活動において外部指導員活用。施設維持保全は30年度末までに耐用年数を基本とした予防保全ができるよう推進。

問 調布駅前広場整備は、樹木保存を契機に、市民の関心が大きく高まった。今、立ちどまり、地域団体や地元住民、市民団体の意見を集約し、多くの市民が納得できる整備の推進が必要。



調布駅前広場(28年11月、東側から撮影)

は連続した緑道を基本に段階的に整備を進める。駅周辺の公共施設は各施設の課題を整理し、今後のあり方などの検討を進め、早期に方向性を定めていく。

問 調布南地下自転車駐車場は駅に直結しないなど、仕様の不便が指摘されている。整備に当たっては、市民の多くが納得できるものとすることを望む。

答 幅広の需要に対応できるよう、利用状況を踏まえ、利便性の高い駐輪環境の実現を目指す。柴崎駅付近のあかずの踏切に対する中期的対応策としての、地元住民の要望である鉄道横断施設の整備について考えは。

問 駅前広場は35年度をめどに整備完了を目指す。シネコンとの連携を図るなど市民に親しまれる広場としていく。鉄道敷地

生活者の目線に立った施策充実で暮らしに希望や活力を 公明党 平野 充

問 育児介護休業法の改定を初め、給付型奨学金制度や私立高校授業料の無償化、さらに市が行う学習支援事業など、制度内容や手続き方法をいち早く市民が知れるよう情報提供を急げ。

める。抜本的な解決には、連続立体交差化による踏切除却が重要。引き続き国や都に強く要望。

問 調布駅周辺商業施設が今秋開業する。市全体の消費喚起・商業活性化に向けた事業展開は

答 これまでの取組成果と商工会等との連携の経験を活かし、より多くの方に市に訪れていた

問 34年には生産緑地の指定が満了を迎える。都の補助制度を活用した都市農業育成対策事業の増額や農地保全など、市内農業経営者の支援への取組みは。

答 市独自の補助事業を拡充し、駅前マルシェなどの農業後継者の取組みを支援。都の補助事業を活用するなど、後継者への支援も含め、都市農業を推進。

問 認可外保育施設への保育料について、第2子以降の保育助成を早期に実施すべき。

答 都へ軽減制度創設を要望。子育て施策全体の中で検討する。

問 児童養護施設退所者への支援は、里親のもとを離れる子へも同等の支援がなされるのか。

答 施設や里親から離れる若者を対象にステップアップホーム事業を創設し、住居支援や自立に向けた相談支援を実施。

問 復興支援に向けた教育的アプローチをどう行っているのか。

答 学校教育全体を通じて、命の大切さを学び、被災者の思いを受け、助け合う力を育成する。

問 29年秋オープンしたシネコンと舞台芸術支援の連携を求める

答 市民が芸術文化活動を楽しめるよう、シネコン連携も検討

問 SDGs理念を教育分野で展開を。

答 SDGsは国の検討状況を注視。調布の子どもが多様性を尊重し、国際社会に貢献できる人材に育つことを目指す。

問 五輪・パラリンピックで来っ子が参加できるボランティアを教育部が深くかかわるべき

答 調布の子どもがかかわれるよう都などと連携。各年代が参加しやすい環境を整え、ボランティアの裾野の拡大に努める。

問 味スタ前のエレベーター整備や、障害者に配慮した会場アクセスを国や都に働きかけよ。

答 会場までの円滑なアクセス、道路確保が実現されるよう、引き続き国や都に働きかける。

問 徘徊者の早期発見に向けた取組みを伺う。家事援助ヘルパーの今後の展開と介護保険制度との連携を研究するよう求める

答 早期発見のため、認知症サポート・養成講座を通して理解を深める取組みを継続。家事援助ヘルパー養成講座修了者への介護現場の情報提供に努める。

問 防災の女性人材育成の考えは。特性に配慮すべき方への実地的避難訓練に資する取組みを

答 男女共同参画の視点から重要と認識。災害時の女性リーダー育成に努める。避難訓練は、災害時の避難支援協定締結組織と連携し、安否確認訓練を実施

問 多摩川住宅地域の地区計画では都市計画と総合防災の連携で排水や下水道の整備を求める

答 防災都市づくりの観点を含め、組織横断的な連携取り取り組む

問 調布飛行場の自家用機移転を求める市民に対し市の考えは

答 引き続き、実効性ある具体的な自家用機削減を都に求める。

市長の基本的施策に対する 代表質問の要旨

夢のある安全安心なまち調布の 創造と市民福祉の向上に期待



チャレンジ調布21
川畑 英樹



問 子ども・子育て関連予算に
関し積極的な姿勢が感じられ評
価。今後子育て施策への決意は。
答 引き続き子ども・子育て関
連のニーズを把握し、解決に向
けた取組みを進めることが必要。
問 調布駅前のブランドデザイ
ンは夢を持てるビジョンを。緑
豊かな駅前広場を次世代につな
ぐよう、様々な考え方を含め、
納得できる合意形成を求め。
答 広く市民参加を図りながら
市民に親しまれ愛される広場を
目指す。

問 小池都知事の改革姿勢に大
いに賛同。都市長会会長となる
長友市長の、改革に向けた都政
教訓に、児童・生徒自身が自助・
共助に必要な知識や行動様式を
身につけられるよう、市教育委
員会が毎年4月第4土曜日に定
めたもの。市立全小・中学校で
実施している。
答 SDGs 貧困撲滅、気候変動
対策など、諸目標を達成するた
め17の目標と169のターゲットか
らなる、国連が定めた「持続可
能な開発目標」のこと。
問 スクールソーシャルワーカー
学校教育の分野で活動する社会
福祉専門職。主に子どもを取り
巻く学校・家庭・地域社会との
関係の中で、問題解決を図る。
こあ 子ども・若者が家庭の
事情などで進学や就職を諦める
ことがないように、学習支援や
居場所を提供し、進学や自立に
向けた相談支援を行う事業。

問 この連携イメージと取組みは。
答 これまでも多摩地域の自治
体間連携に取り組んできた。都
とも連携を強化し、地域活性化
と多摩全体の発展に貢献したい。
問 小型航空機墜落事故から1
年8カ月経過。毅然と安全確保
への取組みを都へ訴えるべき。
答 引き続き都に対し、被害者
や住民の思いを真摯に受けとめ
誠実に対応するよう求めていく。
問 32年は国際交流平和都市
宣言から30周年の節目の年。市
非核平和都市宣言を世界に発す
る好機を市長はどう考えるのか
水木しげる名誉市民の平和への
思いをどう伝えていくのか。
答 国際理解の重要性と平和の
尊さを考える機会を創出。水木
作品に込められた思いを語り継
ぎ、戦争体験談を聞く機会や親
子バスツアーなど、広く子ども
達に伝える企画を工夫していく。
問 SNS等活用した調布のま
ちの魅力発信の具体的取組みは。
答 市報のAR動画やホームペ
ージの動画配信に加え、市公式
フェイスブックの運用開始。今
後市民主体のアプリ開発を含め
た市民による地域情報化を推進
する。
問 防災教育の日の取組みは先
駆的で評価。初動要員・担当市
職員を明確にし地域連携につな
がる体制整備の今後の取組みは。
答 被害状況収集や避難所運営
本部との通信訓練などを追加し
地域・学校・関係機関と協働し
た避難所運営訓練を実施。
問 災害時の避難所生活で配慮
が必要なおストメイトトイレ
配備、民間井戸活用の取組みは。
答 「だれでもトイレ」で一定
程度対応。協力意向を確認し、
民間井戸の水質検査を実施予定。
問 大規模地震に備え、安価な
一部屋シエルト型耐震補強等
様々な選択肢を示すよう提案。
答 状況に合わせた耐震工法の
選択肢として紹介するなど、引
き続き普及啓発に努める。

問 特殊詐欺の件数・金額とも
警視庁管轄内ワースト1位。今
後の取組みは。犯罪抑止のため
街頭防犯カメラの効果的活用や
運用体制の検討の計画は。
答 調布警察署を初め、関係機
関や団体と連携、協力を深め、
被害防止に努める。関係機関や
都と連携し、設置支援など有効
活用を図るよう検討。
問 保育人材の確保と定着の取
組み、待機児童対策の今後の取
組みは。固定資産税減免制度は。
答 就職相談会や家賃一部補助
等、保育定員拡大目指し、整備
を進める。減免制度は創設検討
中。
問 産後ケア事業の切れ目ない
支援を評価。助産師相談事業に
期待。具体的な取組内容は。
答 出産直後に家族支援が受け
られない育児不安の大きい妊婦
などへの相談支援、全児童館で
毎月1回の相談事業を本格実施
する。
問 子どもの貧困対策と生活困
窮者自立支援の組織横断的取組
を評価。実態調査の現状と課題。
答 市独自の調査分析中。調査
結果は施策展開に効果的に活用
する。
問 市独自の児童養護施設から
の自立支援制度の具体的展開は。
答 安価な家賃での住居確保支
援や生活面の自立に向けた相談
支援を行うステップアップホー
ム事業を創設。
問 食物アレルギー事故から4
年経過。風化させない取組みを。
答 校内研修や訓練等、事故防
止や緊急対応力の向上に努める。

問 障害者福祉の位置づけから
もパラリンピックを盛り上げる
べき。取組みに期待。考えは。
答 公共施設のバリアフリー化
を初め、有形・無形のパラリン
ピックレガシーを創出していく。
問 映画のまちに待望のシネマ
コンプレックスがオープン。映
画・映像関連資源を総動員して
の取組みを期待。駅からの誘導
として今後の取組みと展開は。
答 映画資源を活用したにぎわ
い創出、回遊性向上につながる
取組みを推進。映画のまち調布
をモチーフにしたデザインラッ
ピング、映画俳優の碑や手形モ
ニュメント移設など検討し実践
する。
問 深大寺・佐須地域環境資源
保全で土地取得し活用。地域や
学校との連携を含めた方針は。
答 各団体や学校などと連携を
図り、効果的な活用を目指す。
問 クリーンセンター機能再編
で新施設の整備に期待。移転後
の跡地利用は民間連携モデル事
業が目だが、具体的な機能は。
答 多世代交流、地域交流に寄
与する機能を含め、幅広く検討。

問 特別養護老人ホームについ
て、公設も含めて増設を求める。
答 高齢者総合計画に基づき、
引き続き整備を推進。補助金の
拡充も機会を捉えて都に要望。
問 災害時に、家屋の倒壊や火
災の延焼が危惧される木造住宅
密集地の対策を。
答 都市計画制度を活用した面
積のなまちづくりと合わせ、木造
住宅の耐震化に係る費用の一部
助成を引き続き実施し、災害に
強い防災都市づくりを進める。
問 地震発生時に火災を防ぐ感
震ブレイカーの普及促進のため
設置費用の助成を求める。
答 助成制度については、他自
治体の事例を参考に研究する。
問 原発事故の自主避難者への
支援を国に求めるとともに、市
在住者に市としての支援を。
答 東日本大震災直後に、市営
住宅で、避難者1世帯を受け入
れた。都や他自治体の動向につ
いて情報収集に努める。
問 自家用機だけでなく、事業
用機についても飛行場の離発着
回数を抑制することを求める。
答 事業用機は公共的活動も考
慮し、自家用機と一概に同列に
扱うものではないと認識。自家
用機の更なる削減策について、
引き続き都に求めていく。
問 スクールソーシャルワーカー
の増員と学校図書館の司書の
処遇改善を求める。
答 スクールソーシャルワーカー
の体制は今後も検討。学校司
書の処遇は職務内容や職責、他
市状況等を踏まえ引き続き検討
中。
問 中学校給食費の支払いが学
期ごとの前納であることが家計
の負担になっている。小学校と
同様の制度に改善を求める。
答 経済的な理由で一括の支払
いが困難な家庭には、個別に面
談し必要に応じ助言などを実施
支払い回数を増やすなど今後も
個々の実情に応じた対応を継続

用語の解説

基本的施策 市長が毎年、第1
回市議会定例会で述べる市政経
営に対する基本的な考えのこと。
基本的施策に対する代表質問
「質問 調布市議会では、基本的
施策に対し、複数の議員が所属
する会派の代表者による質問を
「代表質問」、所属する議員が
1人の会派による質問を「質問」
としている。
アートブリュット 芸術教育を
受けていない人による、技巧や
流行にとらわれない自由で無垢
な作品のこと。
地域包括ケアシステム 高齢者
が住みなれた地域で暮らし続け
られるよう、住まい・医療・介
護予防・生活支援が包括的・継
続的に提供される仕組み。
防災教育の日 東日本大震災を

問 障害者の有無や貧富の差にか
かわらず、豊かな文化やスポー
ツに親しむ機会をつくるべき。
答 誰もが気軽に参加できる事
業を実施。今後も全ての市民が
活動を楽しめるよう創意工夫。
問 駅のホームドアや転落防止
柵設置など、バリアフリー化の
推進を。鉄道会社と国・都にも
働きかけることを求める。
答 ホームドア設置等について
引き続き京王電鉄に働きかける。
問 憲法施行70年の節目の年に
シネコンなどを活用して憲法と
平和について考える企画を。
答 2020年を国際理解の重要性と
平和の尊さを考える好機と捉え、
映画のまちの特性を活かした取
組みを含め様々な企画を展開。
問 小・中学校のグラウンドの
整備について、特に中学校のグ
ラウンドに夜間照明の設置を。
答 夜間照明の設置は困難な状
況。補助的な照明の設置を検討。
問 グリーンホールや総合福祉
センターなど、駅周辺の施設整

問 障害者の有無や貧富の差にか
かわらず、豊かな文化やスポー
ツに親しむ機会をつくるべき。
答 誰もが気軽に参加できる事
業を実施。今後も全ての市民が
活動を楽しめるよう創意工夫。
問 駅のホームドアや転落防止
柵設置など、バリアフリー化の
推進を。鉄道会社と国・都にも
働きかけることを求める。
答 ホームドア設置等について
引き続き京王電鉄に働きかける。
問 憲法施行70年の節目の年に
シネコンなどを活用して憲法と
平和について考える企画を。
答 2020年を国際理解の重要性と
平和の尊さを考える好機と捉え、
映画のまちの特性を活かした取
組みを含め様々な企画を展開。
問 小・中学校のグラウンドの
整備について、特に中学校のグ
ラウンドに夜間照明の設置を。
答 夜間照明の設置は困難な状
況。補助的な照明の設置を検討。
問 グリーンホールや総合福祉
センターなど、駅周辺の施設整

問 障害者の有無や貧富の差にか
かわらず、豊かな文化やスポー
ツに親しむ機会をつくるべき。
答 誰もが気軽に参加できる事
業を実施。今後も全ての市民が
活動を楽しめるよう創意工夫。
問 駅のホームドアや転落防止
柵設置など、バリアフリー化の
推進を。鉄道会社と国・都にも
働きかけることを求める。
答 ホームドア設置等について
引き続き京王電鉄に働きかける。
問 憲法施行70年の節目の年に
シネコンなどを活用して憲法と
平和について考える企画を。
答 2020年を国際理解の重要性と
平和の尊さを考える好機と捉え、
映画のまちの特性を活かした取
組みを含め様々な企画を展開。
問 小・中学校のグラウンドの
整備について、特に中学校のグ
ラウンドに夜間照明の設置を。
答 夜間照明の設置は困難な状
況。補助的な照明の設置を検討。
問 グリーンホールや総合福祉
センターなど、駅周辺の施設整

問 障害者の有無や貧富の差にか
かわらず、豊かな文化やスポー
ツに親しむ機会をつくるべき。
答 誰もが気軽に参加できる事
業を実施。今後も全ての市民が
活動を楽しめるよう創意工夫。
問 駅のホームドアや転落防止
柵設置など、バリアフリー化の
推進を。鉄道会社と国・都にも
働きかけることを求める。
答 ホームドア設置等について
引き続き京王電鉄に働きかける。
問 憲法施行70年の節目の年に
シネコンなどを活用して憲法と
平和について考える企画を。
答 2020年を国際理解の重要性と
平和の尊さを考える好機と捉え、
映画のまちの特性を活かした取
組みを含め様々な企画を展開。
問 小・中学校のグラウンドの
整備について、特に中学校のグ
ラウンドに夜間照明の設置を。
答 夜間照明の設置は困難な状
況。補助的な照明の設置を検討。
問 グリーンホールや総合福祉
センターなど、駅周辺の施設整

問 障害者の有無や貧富の差にか
かわらず、豊かな文化やスポー
ツに親しむ機会をつくるべき。
答 誰もが気軽に参加できる事
業を実施。今後も全ての市民が
活動を楽しめるよう創意工夫。
問 駅のホームドアや転落防止
柵設置など、バリアフリー化の
推進を。鉄道会社と国・都にも
働きかけることを求める。
答 ホームドア設置等について
引き続き京王電鉄に働きかける。
問 憲法施行70年の節目の年に
シネコンなどを活用して憲法と
平和について考える企画を。
答 2020年を国際理解の重要性と
平和の尊さを考える好機と捉え、
映画のまちの特性を活かした取
組みを含め様々な企画を展開。
問 小・中学校のグラウンドの
整備について、特に中学校のグ
ラウンドに夜間照明の設置を。
答 夜間照明の設置は困難な状
況。補助的な照明の設置を検討。
問 グリーンホールや総合福祉
センターなど、駅周辺の施設整

問 障害者の有無や貧富の差にか
かわらず、豊かな文化やスポー
ツに親しむ機会をつくるべき。
答 誰もが気軽に参加できる事
業を実施。今後も全ての市民が
活動を楽しめるよう創意工夫。
問 駅のホームドアや転落防止
柵設置など、バリアフリー化の
推進を。鉄道会社と国・都にも
働きかけることを求める。
答 ホームドア設置等について
引き続き京王電鉄に働きかける。
問 憲法施行70年の節目の年に
シネコンなどを活用して憲法と
平和について考える企画を。
答 2020年を国際理解の重要性と
平和の尊さを考える好機と捉え、
映画のまちの特性を活かした取
組みを含め様々な企画を展開。
問 小・中学校のグラウンドの
整備について、特に中学校のグ
ラウンドに夜間照明の設置を。
答 夜間照明の設置は困難な状
況。補助的な照明の設置を検討。
問 グリーンホールや総合福祉
センターなど、駅周辺の施設整

●「年」及び「年度」については「平成」を表記していません。

市長の基本的施策 に対する 質問の要旨

2会派(元気派市民の会、生活者ネットワーク)が市長の基本的施策に対する質問を行いました。なお、★印の用語は3面に解説を掲載しています。スマートフォンなどをお持ちの方は、タイトル内の二次元コードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像をご覧いただけます。

参加と協働を中心に据えた

市民の暮らし優先の市政運営を



元気派市民の会
大河巳渡子



問 市民生活支援が第一と云いつつ、国民的課題の地域包括ケアシステムに一言も触れていないのはなぜか。地域包括ケアシステムをどう構築していくのか。

答 市民生活を大切にすることは今後も変わらない。地域包括ケアシステムの構築を重要課題と位置づけ、各分野が横断的に連携し市民と協働して取り組む。

問 地域福祉コーディネーターに期待する機能と役割は。10地域への配置はいつ実現するのか。

答 福祉の生活課題解決に向け、地域福祉を推進する上でその役割は増すと考える。地域福祉計画の改定に合わせて、段階的な配置や役割などを検討していく。

問 調布駅前広場について①樹木に対する考え方を変えた理由。変更過程が市民や議会と共有されていない認識はあるか②広場の将来図が共有されているか③整備後の維持管理・運営を参加と協働で行う検討も必要では。

答 ①樹木保全に向けた市民の思いや議会の意見も真摯に受けとめ、可能な限り既存樹木を保全することについて改めて検討を加えた②樹木の配置を含め広場整備における検討課題について、議会と意見交換し広く市民参加を図り、方向性を定めていく③市民や事業者との協働による様々な管理手法の事例について引き続き調査研究する。

問 施設の老朽化が進む中、公施設整備基金の妥当な積立額の設定をどう考えているのか。

答 公共施設マネジメントに要する将来負担を見据えた中で、計画的な財源確保に向けて検討。

問 法の趣旨からすれば消費税増税の増額分は社会保障の充実に充てるべきものだが、どのような調整をして予算化されたか。

答 子ども・子育て施策や福祉施策の充実に向けて、対象事業を検討し、税率引き上げ分の適切な活用につなげた。

問 女性職員の活躍を全庁的な重要課題として、施策をどう展開するのか。男女共同参画社会の形成に向け、DV防止等の人

参加と協働のまちづくりを

実効性あるものへ進化させるために



生活者ネットワーク
二宮 陽子



問 調布駅前の整備では、調布の環境と特徴を理解し、市民と職員が一緒に参加するフィールドワークを実施するなど、行政と市民が同じ目線に立つことが必要。植栽や安全な歩行者空間の確保、駐輪場の問題など、どう市民と合意しながら全庁を挙げて推進していくのか。

答 広場の計画・検討は多様な市民参加手法を実践し取りまとめた。整備に当たっては、これまでの市民参加の成果を実現することが必要。計画の検討課題は議会との意見交換や広く市民参加を図りながら整備を進める。

問 障害の有無にかかわらずとも生きる共生社会実現に向けた取組みは。また、障害者差別解消支援地域協議会の取組みは。

答 共生社会に向け、ヘルプカードの普及啓発など、ソフト・ハード両面の取組みを推進し、環境整備に取り組む。29年度に協議会を設置し、関係機関と相談事業の共有化や問題解決の促進など、相談機能の向上や差別解消の取組みの協議を行う。

問 子ども・若者総合支援事業権尊重と擁護、ワーク・ライフ・バランス等踏まえ、プラン改訂版では男女共同参画センターの有効活用等をどう推進するのか。

答 総務部に人材育成・女性活躍推進担当を新設。昇任試験制度の見直し等実施。センターが市民にとってより親しみやすい場所となるよう改訂プランに反映し、多様な情報発信等を推進

「こあ」に來られない子ども若者を相談や学習支援につなげるため、アウトリーチを進める必要があるが見解は。また、子ども・若者支援地域協議会への期待と目指すべきあり方は。

答 アウトリーチにより福祉的支援につながった事例もあり、今後も関係機関と連携を図り支援充実にも努める。協議会で、関係機関のネットワークを形成し、困難を抱える子ども・若者への効果的な支援を推進。

問 孤立しがちな高校中退者への支援として、中学校と福祉関係機関の連携を進め、支援を推進していくべきだが見解は。

答 関係機関との連携や子ども若者総合支援事業の人員体制強化を図りながら、切れ目ない支援に努める。

問 中学・高校の生徒を対象に、デートDVの理解が浸透するよう学校での啓発教育を。

答 啓発は重要と認識。先進事例や児童・生徒の発達段階などを考慮し検討。

問 学校給食に地場野菜を使うことを通して、つくる人の思いや食べ物への選択と食べ方を考える食育を調布独自の教育として進めていくべき。子どもの農業体験の機会を増やし、都市農業を守ることにどう考えるか。

答 公立小・中学校の給食に地場農産物を活用、食育にも寄与体験事業などで農業への理解を促進。農地保全に向け、市独自の補助事業などで農業者を支援

文書の取扱いに関する全員協議会を開催

市に対し、議会との信頼回復に向けた徹底的な再発防止策を求める

市が所有していた飛田給1丁目の土地の売却に当たり、その検討段階において、議員や市民と意見交換をした内容などを記載した内部資料が、外部に流出したことが当該土地売買に関する住民監査請求の手続きの過程で判明しました。

市議会では2月24日に全員協議会を開催し、市からこれまでの経緯や再発防止策等に関する説明を受けました。本件は市と議会との信頼関係を壊す大変重大な事実です。当日は、議員から責任の所在や報告時期、信頼回復への具体的な取組みなどについて、厳しい質疑・意見がありました。市長からは、本件の謝罪と責任を痛感し、信頼回復に努めるとの発言がありました。主な質疑・意見は次のとおりです。

「本件の重大性についての市長の認識は」「責任の所在は」「名前が出た議員や関係者に対して、どう対応するのか」「条例など、どう対応するのか」

「本件は地方公務員法における守秘義務違反に該当する」として、議員が「一人一人の職員に対し、本件をどのように伝えたか」「議員の政治生命にかかわる問題。責任の問題を早急に明らかにすべき」「このようないくつかの文書を外に出さうという職員がいること自体問題。市長は全職員に公務員としての自覚を促すような責任のとり方を」

小型航空機墜落事故

調布飛行場における飛行実態の調査と決議

5項目の対応を都へ要請

29年3月29日に、27年7月の小型航空機墜落事故の関係者が、航空法違反容疑で書類送検されました。この容疑が事実なら、「遊覧飛行は認めない」とした地元3市と都の協定覚書に反することから、調布市議会は、調布飛行場における飛行実態の調査検証とその説明とともに、事故原因の徹底究明や被害者への支援など5項目を求め、27年9月の決議について、誠実に対応するよう都に強く要請しました。



4月3日、野田東京都知事政務担当特別秘書(右)に要請文を提出する鮎川議長

市議会では、市民にわかりやすく開かれた議会を目指す取り組みの一つとして本会議・常任委員会・議会運営委員会・特別委員会のインターネット中継(生中継・録画)の配信を行っています。御自宅や外出先でもご覧いただけますので、ぜひ御利用ください。

〈生中継〉
原則として、会議開始10分から終了まで公開

〈録画映像〉
原則として、会議終了後4日後(土曜・日曜・祝日を除く。)に公開
ご覧になるには、次の3つの方法があります。
○市のホームページから、市議会→議会中継→議会中継のページへの順に進む。
○スマートフォンやタブレット端末の専用アプリで、右下の二次元コードを読み取る。なお、お使いの端末環境によっては正常にご覧いただけない場合があります(中継トップ画面の動作環境を参照)。
○インターネットのアドレスバーに下のURLを入力する。

**インターネット中継
(生中継・録画)を
御利用ください**

スマートフォン・タブレット端末でも



議会中継のトップページ画面

http://smart.discussvision.net/smart/chofu/



議会中継の二次元コード

一般質問の要旨



一般質問とは、議員が市長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等をたずねるものです。

第1回定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。なお、※印の用語は6面に解説を掲載しています。スマートフォンなどをお持ちの方は、タイトル内の二次元コードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

税の収納業務について問う



狩野 明彦 (自由民主党創政会)

問 福祉の増進を図る上で大変重要な財源である市税並びに国民健康保険税の収納率と、税負担の公平性を維持する収納率向上のための取組みを問う。
市民部長 市税の27年度収納率は97.8%。滞納整理システムの導入や、コンビニ収納など納税者の利便性向上への取組みを実施。
福祉部長 納税課と同様に取組み、国保税27年度収納率は76.2%。悪質滞納者などの「払わない人」と福祉的配慮が必要な「払えない人」との区別を考慮した、市税と国保税の滞納・債権回収の取組みと相互の連携について問う。



空き地の管理と

食育について問う



小林 充夫 (自由民主党創政会)

問 「調布市空き地管理の適正化に関する条例」について市民の認識度は。
環境部長 条例の存在自体は御存じない場合もあるが、適切な管理の必要性は認識されている。
問 市は所有者に対し、空き地に繁茂する雑草等について勧告や命令などで指導していると考え。今後の取組みとして①各部との連携は②代執行に至るまでの基準について問う。
環境部長 ①環境部以外の職員からも情報提供されるよう連携を図る②危険な状態のまま放置の場合、条例により必要な手順を経て代執行も視野に対応。
問 市は所有者に対し、除草や撤去などに要した費用を差し押さえをしても徴収できるが、市の対応について問う。
環境部長 市の債権として法に基づき適切な対応をする。
問 学校給食について、市の親子調理方式の評価と展望を問う。
教育長 更なる民間活用を検討。
教育部長 児童との触れ合い等食育でも、直営校と同等の対応。
問 立川市立小学校での食中毒について、納入食材に原因があったが、食中毒の予防に対し、市はどのように取り組むのか。
教育部長 基準定め安心できる事業者と契約。調理従事者の健

率的な事務執行に努力。納税相談窓口がわかりづらいという意見もあり検討課題の一つと認識。
問 東京都26市の国保税の収納率順位では、市税と収納業務の一元化をしていない市が下位だということ踏まえて、今までの検討について問う。
行経部長 毎年、各部と意見交換などを実施。次期基本計画が始まる31年度を一つのめどとして引き続き検討。



保険年金課窓口 (市庁舎2階)

多摩川住宅再生に向けて

新たな公的支援を求める



雨宮 幸男 (日本共産党)

問 調布駅前広場整備事業の今後のタイムテーブルは。
都整部長 30年度地下自転車駐車場、31年度北側ロータリー、35年度駅前広場全体が完成予定。
問 駅前公共施設の活用計画と今後の課題について①グリーンホールは②総合福祉センターは。
生文部長 ①中期的な維持保全案検討。バリアフリー対応課題。
福祉部長 ②将来、道路整備などで維持困難のため機能等検討。更新時等のサービス提供が課題。
問 駅前広場整備事業完了年次と両施設の利用年数の整合性についてどのようになっているか。
行経部長 引き続き庁内で連携
問 して早期に方向性を定めていく。
問 多摩川住宅再生に関して、地区計画策定への取組みは。
都整参事 街づくり懇談会の開催、原案告示や説明会など実施。
問 都市計画手続きを含む市行政としての今後の取組みは。
都整参事 29年7月までに地区計画の都市計画決定を目指す。
問 新しい公的支援の検討を。
都整参事 国や都へ要請する。
問 多摩川住宅ロー16号棟の解体・除却工事の日程は。
都整参事 30年4月末まで予定。
問 多摩格差の現状は。
市長 住民サービス水準に差異。
問 多摩格差解消に向けた広域



総合福祉センターとグリーンホール

子ども施策の前進を評価

厳しい生活の高齢者への支援拡充を



岸本 直子 (日本共産党)

問 待機児童対策のための認可保育園増設や認証保育所保育料の補助増額等子育て支援拡充策を高く評価。子ども施策について①義務教育就学児医療費助成制度の今後の展望は②今後の保育園の待機児童解消のプランは。保育士確保や23区で実施する保育園の民有地利用での固定資産税減免など都の新たな動きに対し見解は③学童クラブの増設を。
子生部長 ①制度拡充に向け国や都へ財政支援の要望など行う。③児童数の推移やニーズを見きわめ、整備目標達成に努める。
市長 ②保育園誘致・開設と合わせ、保育人材確保に向けた相
問 談会や宿舍借り上げ支援を実施し総合的な待機児童対策につなげる。税減免制度は創設を検討。
問 高齢者支援について①収入の限られる高齢者への経済的支援創設を②話し相手となる地域福祉コーディネーターの増員と今後の高齢者の心のケア充実を。
高齢部長 ①現金給付等の支援は継続性など課題はあるが他自治体の取組みを調査研究②事業検証をし、段階的な配置に向け検討。心のケアの取組みは、地域福祉計画と高齢者総合計画の連携を図り展開。
問 近年広がってきた重層長屋について①共同住宅との違いと



地域福祉コーディネーターの活動 (ひだまりサロン)

連携の現状と課題は。
市長 多摩全体の発展に向けて連携強化の機運は高まり、今後も都と連携を強化し事業を展開。
問 市町村総合交付金と区市町村振興基金の大幅増額を求めるとともに、各交付金や振興基金が市町村で使い勝手がよくなるよう、都に改善を求めよ。
行経部長 両制度の一層の増額と繰り越しが認められるよう、引き続き都に要望する。

商店街と福祉の連携で

コミュニティの活性化を



武藤 千里 (日本共産党)

問 人と人とのつながりを土台とした地域コミュニティは、防災、子育てや福祉、まちづくりなどの基礎となり、住民が安心して生活を送る上で欠かせない。地域コミュニティ政策の位置づけと取組み、課題について伺う。

市長 地域の自主・自立性を尊重しながら、コミュニティの醸成を支援し、地域課題の共有と解決へ市民と協働で取り組む。

生文部長 自治会の加入促進や地区協議会の設立・活動を支援。活動の担い手の確保などが課題。

問 かつて商店街は地域コミュニティの担い手だった。空き店舗を地域コミュニティの場とし、

商店街の活性化につなげては。

生文部長 市民が集うスペースの設置や人材により、商店街のにぎわいとコミュニティを創出。

問 商店街と福祉関係団体の連携を促進することを求める。

生文部長 産業と福祉部門が連携し、地域で支え合って暮らすことのできるまちづくりを推進。

問 回想法は、認知症予防や進行をおくらせる効果がある。郷土博物館での取組みの充実を。

教育部長 29年度から、生涯学習出前講座に回想法に関する介護事業所向けメニューを加える。

問 「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」による

生産緑地の買い取りと活用は、**環境部長** 申し出があった際は、計画に基づき公有化を検討。農的空間等での活用が必要と認識。

問 2022年に市の生産緑地の大部分が買い取り申請できるようになり、大幅に農地が減少するといわれる2022年問題への認識は。

生文部長 農業者に制度内容を周知。農業委員会とも連携して農業経営力向上に向けて支援を継続し、都市農地の保全を図る。



空き店舗を活用した熊野前商店街(荒川区)の取組み

調布駅前広場計画について

もう一度市民の声を聞く考えは



大須賀浩裕 (自由民主党創政会)

問 駅前広場の樹木は先人たちが残してくれたレガシー。①計画が二転三転した理由は②議会と市民への説明責任の見解は。

都整部長 ①樹木保全に向けた市民の思いを受けとめ、移植先を広範囲に見直すとともに、記念樹等は残すなど検討を加えた。

市長 ②計画の具現化段階であり広範な意見聴取が必要だった。引き続き丁寧な説明に努める。

問 調布駅南地下自転車駐車場について①駅に直結していないことをどう市民に説明してきたのか。多くの市民が理解していると認識しているのか②線路跡地の緑道・生活道路等予定地の

一部を駐輪場に転用や地下駐輪場の費用対効果等との比較、鉄道会社に一定の費用負担を求めること等、アンケートを含め市民にもう一度聞いてみる考えは。

都整部長 ①26年度のアンケート調査で駅との接続がないこと等各案の概要をイメージしやすく作成し、実施。過半数の方が妥当と回答②駐輪場整備計画は議会や市民の意見を取り入れたもの。段階的に整備を進める。

問 タコ公園の特色、子どもの笑顔と歓声は代替公園でも担保されるのか。代替地を線路跡地でなく駅前広場に求める考えは。

都整部長 駅前広場は都市計画

道路として都市計画決定しており、公園整備は極めて難しい。

問 公文書流出事件について①議会への報告が遅くなり、何も市民に知らせていない理由は②市長としてどう責任をとるのか。

都整部長 ①議会への報告内容を慎重に検討したため、対応方針が定まるまで時間を要した。

市長 ②事案対応の進捗を見きわめ、本定例会で自身の責任を明らかにする。



調布駅前広場(28年11月、西側から撮影)

用語の解説

親子調理方式

給食室のある学校で調理した給食を、配送車両により他の学校へ運搬する方式。市では17年度から導入し、小学校8校から近隣の中学校へ配送。

多摩格差 以前は交通網や公共施設などにおける多摩地域と区部との格差を指していたが、近年では子育て支援や学校の空調整備など、行政サービスの差異を指して使われることがある。

重層長屋 共用の階段や廊下などがなく、全ての玄関が1階にあり縦に連なる形態の集合住宅。

旗竿地 道路から通路を介して奥敷地に家が建つ形状の土地。その形が旗のついた竿のようになっている。

回想法 認知症予防等の効果を期待し、高齢者に過去の楽しい記憶をよみがえらせることで脳の活性化を促す心理療法。昔の道具や写真等の地域資源を使用するものを地域回想法という。

プログラミング教育 子どもたちに、コンピュータに意図した処理を行うよう指示することができるという体験をさせ、論理的な思考力を育む教育。時代を超えて普遍的に求められる力としてのプログラミング的思考などを身につけさせる。

タコ公園 調布駅前公園の通称。昭和47年に開園し、タコの滑り台などの遊具があった。(仮称調布駅南地下自転車駐車場の整備に伴い平成28年9月末に閉園)

針策定を求める／成人式の案内状が映画をモチーフに工夫されており、話題になったことを評価／深大寺釈迦如来倚像の国宝指定とあわせて、市内の文化財をPRすることを求めるなど。

採決の結果、全員異議なく原案了承と決しました。

質の高い教育環境の提供と

児童館事業の充実を



丸田 絵美 (チャレンジ調布21)

問 教職員の働き方について①現状をどう捉えているか②超過勤務の実態把握をどのように行っているのか。

教育長 ①直面する課題は増加勤務時間が長く、労働環境の適正化を図る必要があると認識。

教育部長 ②出勤簿の押印で出勤を管理し校長や副校長が把握。

問 出勤簿に押印で時間外勤務の管理ができていないのか疑問。他自治体ではタイムカードでの管理などを導入。市も検討を。

教育部長 システム導入費用等が課題。都教育庁の動向を注視。

問 先生方が子どもたちと向き合う時間の確保が必要。見解は。

教職員の負担を軽減し、きめ細かな指導が行えるよう業務の精選などに努める。

問 次期学習指導要領改訂案を受け、新たな課程の必修化や評価が始まる。市の取組みは。

教育部長 児童・生徒の成長の様子を受けとめ、励ますことに力を置いた評価について検討。

問 プログラミング教育や英語などは専門性が必要。専科教諭の配置など教員の負担軽減策は。

教育部長 事業見直しで負担軽減。研修充実で指導力向上を図る。

問 28年に50周年を迎え、都で2番目、多摩地域で初の開館である市の児童館について①市の



つつじヶ丘児童館(西つつじヶ丘3丁目)

設置の理念は②これまでの取組みと評価は③職員の専門性確保についてどう考えるか④今後の方向性について伺う。

子生部長 ①児童の健康を推進し、情操を豊かにする②安全安心な遊びや伝統的な遊び等を提供。地域や世代を超えたつながりを築いた③研修体制の充実等に努め専門性の維持・向上を図る④地域との連携を深め、子育て支援などの取組みを進める。

常任委員会の審査から

市議会では、4つの常任委員会を設置しています。市長提出議案・陳情などは、それぞれ所管の委員会で詳細な審査を行っています。その中から、平成29年度一般会計予算の主な審査状況をお知らせします。

総務委員会

総務委員会所管について審査を行いました。委員からの主な質疑・意見は次のとおりです。

歳入では、都市計画税は近隣自治体の税率を勘案すべき／市町村総合交付金獲得の更なる努力を求める／五輪・パラリンピックに向けて、市として残していくレガシーについてなど。

歳出では、市民サービス公社の今後の方向性について／文書管理の徹底、厳正な運用を求める／人事配置・採用の考え方に

採決の前に討論があり、反対討論では、多額な事務費が投入される臨時福祉給付金が予算化国は安心して子どもを産み育てられる基盤整備に税金を使うべき。賛成討論では、財政の健全性をベースに更なる市民福祉の向上の取組みを／修正基本計画に位置づけた各施策事業推進のため、限られた財源が適切に配分／市民の暮らしと命を支える内容の予算と評価など。

採決の結果、賛成多数で原案了承と決しました。

文教委員会

生活文化スポーツ部及び教育部所管について審査を行いました。委員からの主な質疑・意見は次のとおりです。

生活文化スポーツ部では、オレオレ詐欺の被害件数が依然多い中で、被害を未然に防ぐための対策強化を求める／調布駅前広場整備に伴いグリーンホールの外階段がなくなることで、施設利用に与える影響及び施設の将来像はどのようなものか／シネマコンプレックスのオープンが近いが、駅から映画館までの雰囲気づくりを工夫し、映画のまちのアピールを求めるなど。

教育部では、学校司書の役割が増える中、現状に見合った処遇になるよう改善を求める／タブレット端末を導入していくに当たり、有効活用するための方

案件に対する議員の態度

【各会派の名称と人数】

自…自由民主党創政会(10人) チ…チャレンジ調布21(7人) 公…公明党(5人)
共…日本共産党(4人) 元…元気派市民の会(1人) 生…生活者ネットワーク(1人)

議案番号等	件名	結果	自	自	自	自	自	自	自	自	自	チ	チ	チ	チ	チ	チ	公	公	公	公	公	共	共	共	共	元	生
			田中久和	鈴木宗貴	鮎川有祐	伊藤学	大須賀浩裕	狩野明彦	小林充夫	小林明裕	元木勇	渡辺進二郎	川畑英樹	丸田絵美	井上耕志	榎原登志子	清水仁恵	広瀬美知子	宮本和実	小林市之	平野充	須山妙子	橋正俊	内藤美貴子	雨宮幸男	岸本直子	井樋匡利	武藤千里

第1回定例会

市長提出議案第1号から第6号は3月2日、その他の案件は3月22日に議決しました。第30号(調布市長の給料の特例に関する条例)は申し出により取り下げ。
※態度表内の「議」は議長で、採決には加わりません。

〈態度の分かれた市長提出議案〉 ○…賛成 ×…反対 ー…退席

1	平成28年度調布市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	調布市特定個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	調布市乳幼児及び義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成29年度調布市一般会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〈議員提出議案〉 ○…賛成 ×…反対

1	共謀罪(テロ等準備罪)の制定に反対する意見書提出について	否決	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
2	森友学園問題の真相究明のために、参考人招致の実現を求める意見書提出について	否決	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	地域の実情に応じて運用できる「民泊」の法制化を求める意見書提出について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書提出について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	水素ステーションの整備促進を求める意見書提出について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〈委員会提出議案〉 ○…賛成 ×…反対

1	調布市議会会議規則の一部を改正する規則	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	外環道沿線住民の緊急時避難計画策定を求める意見書提出について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〈請願・陳情〉 ○…採択 □…趣旨採択 ×…不採択 △…継続審査

陳66	調布市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	継続審査	△	△	議	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
陳72	調布飛行場におけるヘリコプター利用の制限に関する陳情	継続審査	△	△	議	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
陳73	外環道沿線住民の緊急時避難計画策定について国への意見書提出を求める陳情	採択	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳74	別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備を求める陳情	継続審査	△	△	議	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
陳75	別居・離婚後の親子の断絶を防止する公的支援を求める陳情	趣旨採択	□	□	議	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

〈満場一致で可決した市長提出議案〉

2	平成28年度調布市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	15	調布市立学童クラブ条例の一部を改正する条例
3	平成28年度調布市用地特別会計補正予算(第1号)	16	調布市介護保険条例の一部を改正する条例
4	平成28年度調布市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	17	調布市医療ステーション条例の一部を改正する条例
5	平成28年度調布市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	18~20	市道路線の廃止について
6	平成28年度調布市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	21・22	市道路線の一部廃止について
7	調布市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	24	平成29年度調布市国民健康保険事業特別会計予算
8	調布市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び調布市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	25	平成29年度調布市用地特別会計予算
		26	平成29年度調布市下水道事業特別会計予算
		27	平成29年度調布市介護保険事業特別会計予算
		28	平成29年度調布市後期高齢者医療特別会計予算
10	調布市職員定数条例の一部を改正する条例	29	人権擁護委員の候補者の推薦について(佐瀬一男氏)
11	調布市手数料条例の一部を改正する条例	31	調布市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
12	調布市民体育施設条例の一部を改正する条例	32	車橋架替え工事請負契約の一部を変更する契約
13	調布市民民プラザあくろす条例の一部を改正する条例		

〈市長報告〉

報1	専決処分の報告について(粗大ごみの収集作業に伴い物件に損害を与えた事故について、損害賠償額が決定したもの)
報2	専決処分の報告について(軽自動車のドアの接触により物件に損害を与えた事故について、損害賠償額が決定したもの)

編集後記

市民の皆様にあえられる紙面となるよう、議論を進め、改善を行ってまいりました。数多くの改善ができたと感じております。残された課題もありますが、今号をもって現委員は最後となり、新委員へバトンタッチ。こちら卒業と新たなスタートです。

(広報委員一同)

議員研修を実施しました

市議会では、議会基本条例で議員研修の充実を掲げ、議員の政策形成・立案能力の向上を目指しています。

2月6日に一般財団法人地域開発研究所の牧瀬稔氏を招き、「議員が提案する政策条例のポイント」をテーマに、自治体議会の役割の再確認や全国自治体のユニークな条例紹介等について講演いただきました。終了後には活発な質疑応答が交わされるなど、充実した研修となりました。



平成29年度各会計予算一覧表

会計	29年度予算額	28年度予算額	増減額	増減率
一般会計	886億5,000万円	853億6,000万円	32億9,000万円増	3.9%増
国民健康保険事業特別会計	250億4,374万円	246億749万円	4億3,625万円増	1.8%増
用地特別会計	2,912万円	2億5,178万円	2億2,266万円減	88.4%減
下水道事業特別会計	33億8,788万円	35億1,149万円	1億2,361万円減	3.5%減
介護保険事業特別会計	147億4,359万円	146億6,849万円	7,511万円増	0.5%増
後期高齢者医療特別会計	48億8,267万円	48億8,930万円	662万円減	0.1%減
合計	1,367億3,701万円	1,332億8,855万円	34億4,847万円増	2.6%増

※金額は万円未満を四捨五入。

次回の定例会は6月1日(木)からの予定です。なお、請願・陳情をされる方で、次回定例会での審議を希望する方は、5月29日(月)午後5時までに議会事務局へ提出してください。